

### 図書館費・職員数の推移

単位：千円 人

		H12				H16				H21				H26			
図書館費		715,694				606,011				663,705				637,092			
内訳	職員給与等	370,746				376,259				415,470				338,093			
	嘱託職員報酬等	30,658				45,080				52,066				89,880			
	臨職賃金・非報酬	57,528				40,425				43,282				43,143			
	人件費関係	458,932				461,764				510,818				471,116			
	図書購入費事業	93,361				41,923				60,249				50,492			
運営経費	163,401				102,324				92,638				115,484				
比率	給料・手当等	64.1%				76.2%				77.0%				73.9%			
	図書購入費事業	13.0%				6.9%				9.1%				7.9%			
	運営経費	22.8%				16.9%				14.0%				18.1%			
職員	常勤	45	0	12	30	44	0	19	19	45	4	20	23	38	6	34	21
	再任用																
	嘱託																
	臨職・非一																
	合計	87				82				92				99			
備考		運営経費にやまばと号の借上料				図書購入費 H12以降大幅カット				職員給与等のピーク。図書費増は唐木田分				職員の再任用化と嘱託化が進む。唐木田は一部業務委託で運営 スタッフ9名			

### 図書館費・職員数の推移割合

(平成12年度を100%としたときの各年度の割合)

		H16/H12				H21/H12				H26/H12						
図書館費		84.7%				92.7%				89.0%						
内訳	給料・手当等	100.6%				111.3%				102.7%						
	図書購入費事業	44.9%				64.5%				54.1%						
	運営経費	62.6%				56.7%				70.7%						
	職員	正職員	再任用	嘱託	臨職・非一	97.8%		158.3%		100.0%		166.7%		84.4%		283.3%
	合計	94.3%				112.2%				107.6%						

### 8館の利用者数推移

単位：人

	H12	H16	H21	H26	備考
多摩市立図書館（本館）	49,441	38,093	134,127	134,963	H20 移転
東寺方図書館	24,719	20,884	32,347	32,536	
豊ヶ丘図書館	116,576	83,976	66,695	61,474	
関戸図書館	127,338	114,227	145,811	147,720	
聖ヶ丘図書館	56,771	42,111	47,622	40,998	
永山図書館	238,610	197,889	218,557	207,710	
唐木田図書館				48,671	H23 開館
行政資料室			2,235	2,495	H20 移転
やまばと号	5,672				H16.3 廃止
小計	619,127	497,180	647,394	676,567	
団体貸出（団体）	130	130	121	111	
障がい者サービス	432	459	413	479	
合計	619,689	497,769	647,928	677,157	

障がい者サービスは宅配利用者数と対面朗読利用者数の合計とした。

### 8館の利用者数推移割合

(平成12年度を100%としたときの各年度の割合)

	H16/H12	H21/H12	H26/H12
多摩市立図書館（本館）	77.0%	271.3%	273.0%
東寺方図書館	84.5%	130.9%	131.6%
豊ヶ丘図書館	72.0%	57.2%	52.7%
関戸図書館	89.7%	114.5%	116.0%
聖ヶ丘図書館	74.2%	83.9%	72.2%
永山図書館	82.9%	91.6%	87.0%
唐木田図書館			
行政資料室			
やまばと号			
個人貸出（計）	80.3%	104.6%	109.3%
団体貸出（団体）	100.0%	93.1%	85.4%
障がい者サービス	106.3%	95.6%	110.9%
合計	80.3%	104.6%	109.3%

### ●職員と事業費など投資的要素を読む。

- 平成12年（基準年）
  - ・全体で7.2億円弱
  - ・図書購入費が9.3百万円
  - ・運営経費1.6億円、やまばと号の借上料が積算されている。
- 平成16年
  - ・全体で15%程度の減。
  - ・多摩市行財政再構築プラン（H16～H18）の影響
  - ・やまばと号の廃止と図書購入費が半減
  - ・職員構成については、臨時職員から嘱託職員にシフトする傾向
- 平成21年
  - ・職員給与のピーク
  - ・再任用の登用がある。
  - ・図書購入費の増加は、平成23年度開館の唐木田図書館の準備に係るもので1千万円が追加。
- 平成26年
  - ・人件費の内訳、職員構成が大きく変わっている。常勤職員の減少を、再任用と嘱託職員の増加でカバーする方策か。
  - ・唐木田図書館の委託もカウントされている。委託費は32,419千円、スタッフ9人。これを人件費相当として、試算すると、人件費の構成比は73.9%から79%となる。

### ●状況のまとめ

- 図書館費自体は、H12と比べて、89.7%に圧縮。
- 運営経費は、やまばと号が減って、唐木田の委託が増えた。
- 図書購入費は半減。
- 人件費は大きな変動がなくなったが、費用の内訳と職員構成は大きく変わり、常勤の減、再任用、嘱託の増 → 専門性の担保と継承が喫緊の課題。

### ●年度ごとの利用状況など施策効果的要素を読む。

- 平成12年
  - ・本館は、やまばとホール
  - ・地域館の豊ヶ丘の利用が拠点館の関戸と同じくらい。
- 平成16年
  - ・やまばと号の廃止もあり、全体的な利用の減少
- 平成21年
  - ・H20本館の移転と行政資料室のオープン
  - ・本館の利用が大きく伸びるのに対して、豊ヶ丘の利用が半減する。
- 平成26年
  - ・H23開館の唐木田図書館が全体の利用の増加に貢献

### ●館ごとの利用状況など施策効果的要素を読む。

- 本館
  - ・平成20年以降
  - ・本館とはいえ、駅前拠点館より利用は少ない。
- 関戸・永山（拠点館）
  - ・駅前拠点館として、多くの利用がある。
  - ・本館・拠点館で全体の7割の利用
- 東寺方（地域館）
  - ・平成12を100としたとき、H26 30%増、利用は増えている。嘱託職員で運営
- 豊ヶ丘（地域館）
  - ・本館移転以降、利用は半減するが、地域館の中では最も多い。
- 聖ヶ丘（地域館）
  - ・減少傾向にある。スーパーの撤退等、周辺一帯の沈滞も影響している？
- 唐木田（地域館）
  - ・H23開館。窓口業務委託の6年目